

はと 鳩の峯

No. **46**
2018
1.1

平成30年1月1日



白木・天満宮祭り注連縄

主な内容

- 高浜ブドウワイン試飲会… 2P
- 高浜地区体育大会…………… 2P
- 高浜地区グラウンドゴルフ大会… 2P
- 連載…………… 3P
- 十五社宮祭り…………… 3P
- まちごもりの風景…………… 3P
- 市民ふれあい座談会…………… 3P
- 同窓会…………… 4P
- 故郷に生きる…………… 4P
- 編集後記…………… 4P

新年あけましておめでとうございます。

表紙写真は、昨年11月12日に白木・天満宮祭りの際の1ショットです。長さ8メートルもの大しめ縄作りや境内の清掃等々に早朝より総勢70名近い迫の方々が賑やかに集まっておりました。

神事を無事済ませ、その後はグラウンドゴルフ、午後には宴会・カラオケ大会と、迫民の親睦を図り有意義な1日を過ごされたようでした。

さて、平成も30年、皆様今年も良い年を迎えられたと思います。今年も無事に過されますようお祈りします。

高浜ブドウ

「ワイン試飲会」

田中 光徳



熊本での試飲会

11月27日熊本市リストラテ
ミヤモトにおいて高浜ワインの
試飲会が行われました。

今回は天草町大江出身の木下
真由美さんの呼びかけで高浜ワ
インの応援団をされる方と今年
の高浜ワインの試飲会に参加し
ました。

熊本ワインの社長で玉利さん、
酒販売店社長さん等関係者の皆

様と話を聴くことができました。
高浜ワインとスパークリング
ワインを試飲したのち、今年のワ
インは高浜の特徴があり非常に
料理に合いますね、そしてラベル
がシンプルになっていていい、出
来れば本数があれば等、貴重な御
意見を頂きました。今後の取組み
に力をもらった熊本の試飲会であ
りました。



高浜での試飲会

高浜地区体育大会



長縄跳び

9月24日(日)この時期には肌寒
い天候の中、第47回高浜地区体育
祭が開催されました。
競技が進んでくると、恒例の「び
ん倒し」競技など会場は熱気と笑
いにつつまれ怪我もなく和やかに
終了することが出来ました。

優勝 大庵皿山区

2位 松下区

3位 白木区

高浜地区グラウンドゴルフ大会

10月22日(日)第27回高浜地区グ
ラウンドゴルフ大会が開催されま
した。台風21号の接近で開催が危
ぶまりましたが、参加者の願いが
かない、風が強い時もありました
が、楽しくプレーすることが出来
ました。

個人			団体		
優勝	2位	3位	優勝	2位	3位
西岡 恵美子さん	山崎 幸男さん	尾崎 南海子さん	白木Aチーム	宮の平Aチーム	元内峰Cチーム



団体優勝 白木Aチーム

連載

その③

京都府立大学 文学部 歴史学科 東 昇

雪松・鬼火・はるまんぢう

正月は一年で一番多くの行事があります。今回は高浜の特徴的な行事を紹介します。

①雪松、家の中央より恵方にあたるなげしの上に年徳神棚をつくり、注連をはり、雪松を立て、鏡餅・神酒・灯明を供える。雪松とは、若松を神棚の左右へつけ、松葉に白粉をふったもの。

②鬼火、七日の朝、家から離れたところで、子供が取り置いた門松や注連縄を燃やす。門松の添竹を細く割り一尺位にして、先を焼き家の戸口にさす。鬼の骨といひ悪病退散になる。鏡餅をあぶり七草雑煮に入れる。元日に紙を長く継ぎ吉書という書き初めをし、恵方棚に供えたものを竹にはさみ火をつけはねあげ、その焼け残りが高くあがれば手習いも上達する。

③はるまんぢう 一四日夕、柳木を一枚余り伐り皮をとり、両木口より削り中程を残し、それを二、三歳以下の子供が持ち花嫁の尻を打つ。打せない時は、家の壁を崩す。また実りよくするため果物の木の皮も打つ。

鬼火(おねび)以外の行事は、現在も行われているでしょうか。

十五社宮祭り



大庵地区の皆さん

10月22日(日)大庵地区では十五社宮にて、松葉を一本(1対)ずつ手に取り、鳥居から本殿の間を、千本の松葉の束が出来るまで往復する千度詣りが行われました。この日の参加者は33人で一人あたり30数回を詣り無病息災を願い奉納されました。

まちごもりの風景



諏訪神社



稲荷神社



八坂神社

市民ふれあい座談会



移転が決まった西天草分署

10月18日(水)午後7時30分から高浜コミセンにて市民ふれあい座談会が開催され、中村市長からパワーポイントを使い天草市の主要事業の庁舎建設や防災無線事業や世界遺産に向けた取り組みなどの進捗状況と天草町での国道389号の状況や五木村との交流事業や西天草分署の移転と天草町の給食センターや火葬場は単独で残るなど説明がありました。

出席者からも熱心に質問があり、予定時間を過ぎて盛会の内に終了しました。

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動
に有効に活用させていただきます。

香典返し

山田 良昭様
(故・山田メグミ様) 白木

ふるさと応援寄付金

脇田 美徳様 (福岡県)
西平 勝幸様 (京都府)
青田 憲一様 (東京都)
山田 健介様 (大阪府)
西岡 智彦様 (東京都)
木本 進弥様 (大阪府)

高浜地区

(平成29年11月30日現在)

人口 1,188人

男 545人

女 643人

世帯数 622戸

高齢化率(65歳以上)
592人(49.8%)

高浜小中学校同窓会



去る10月15日長崎の稲佐山ホテル於、昭和17、18年生れの同窓会が行われました。東京・大阪・天草等方々から22名が集まり、午後6時より宴会が始まり二次会共に長崎港では、花火が上がり我々を歓迎してくれました。雑談、談笑で夜更けまで話が盛上がりとても楽しい同窓会でした。

この会を段取りよく楽しく企画してくださった、長崎在住の幹事皆様方のご苦勞に感謝致します。

2年後は、天草で行う事に決定しました。それまで元気で再会を祈り散会しました。 同窓生・74才

故郷に生きる

【第4弾】



岩下 龍志さん(35才)

熊本市内で生まれ、学生時代は建築を学んでおりましたが、実家が園芸屋をしていた影響もあり、卒業後の約10年間は東京・沖縄で「花屋」の職を続けていました。ただ沖縄で今の嫁さんと出会い、家族が出来た事で「子どもとの時間を増やし田舎で育てたい」と考え方が変わり、農業の道を決断しました。南阿蘇にて農業研修後、そのまま独立しました。ですが、地震の影響で南阿蘇での営農を断念し、この天草高浜の地で新たに就農することになりました。栽培に関しては苦勞も多いですが、なんとか今年レンコンが無事出来てくれましたので一安心しています。まだまだ大変で落ち着けていませんが、幸いなことに子供もすぐこの環境にも慣れ、友達も出来て毎日笑顔が絶えず楽しい生活が出来ています。娘がこの高浜の土地を「故郷」と思える様にこれから嫁と一緒に支え、また高浜の地域の皆様と支えあいながら育てて生きていきたいと思

ます。

編集後記

表紙でも紹介しました白木・天満宮のしめ縄作りも、今年が最後になる様です。近年、しめ縄用の藁の調達も難しくなり、またその作り手も高齢化とさらには、高浜八幡宮をはじめ、諏訪社・稲荷社・八坂社と既成のナイロン製のしめ縄に変遷しています。聞くところによれば、秋葉社も今年も既成のものになる様です。

天然の藁で作ったしめ縄に愛着を感じつつも、時の流れには逆らうことは出来ません。ただ、しめ縄がナイロン製のものになっても、各迫の方々も、各迫の時代も同じだと思っています。

狭い地域内のこととは言え、各迫の迫祭が、江戸時代から引き継がれてきた伝統行事です。今後さらなる変化があるかもしれませんが、次の世代へも引き継がれていくことを願って止みません。

最後になって恐縮ですが、新年あけましておめでとうございます。良い年になりますよう祈念いたします。